

炭素国際会議（Carbon2030）の招致決定について

2030年の炭素国際会議（International Conference on Carbon）を、日本で開催することが決定されました。

本会議は、アジア、米国、欧州で毎年交代に開催されており、3年に一度アジア地域に順番が回ってきます。今年、中国で開催された Carbon2024 に続く 2027 年の輪番については、韓国開催がすでに決定していました。Carbon2024 の際に、アジア各国の炭素材料学会で組織する Asian Association of Carbon Groups の会合が開かれ、2030 年の Carbon 国際会議を日本で開催することが決定されました。

2020年に予定していた Carbon2020 京都は、新型コロナウイルスのパンデミックにより中止に追い込まれました。したがって、長野で開催された Carbon2008 以来、実に 22 年ぶりとなる Carbon 国際会議の日本開催となります。炭素材料学会の総力を挙げて Carbon2030 を成功に導くことは、わが国の炭素材料研究のプレゼンスを世界に示す格好の機会となるとともに、若手研究者、学生にも大いに刺激を与え将来の発展につながることでしょう。

運営委員会では Carbon2030 国際会議準備委員会を設置し、Carbon2030 に向けて様々な準備を開始します。

会員各位のご支援、ご協力を心よりお願い申し上げます。

炭素材料学会会長 曾根田靖